

脱臭槽内の樹木チップの状況確認

昨年9月から稼働を開始した脱臭装置（脱臭槽）を一旦解体し、槽内の樹木チップの状況を確認しました。

送風孔周辺のチップはよく乾燥し、外観は投入時と変わりませんでした。その周囲に黒色に変化した層ができており、この部分が脱臭の主役として活躍しているものと推測されました。

今後、送風量による脱臭能力の変化等を調査し、脱臭装置の適正な規模、チップの交換時期等の目安となるデータの収集に努めます。



脱臭槽内部



投入時の樹木チップ